



地区説明会（第1、2回）の実施報告

（目次）

- 1.地区説明会の開催概要
- 2.当日いただいた意見概要
- 3.事後アンケート結果概要

株式会社建設技術研究所

1.地区説明会の開催概要

- 第1回地区説明会は2地域、3地区で開催し、計65名参加した。

<第1回地区説明会開催概要>

開催地域	日時	参加人数	会場	開催プログラム
串木野地域	令和5年11月19日（日） 10:00～11:30	13名	いちき串木野市役所 串木野庁舎	1 開会 2 説明 (1) いちき串木野市の今とこれから (2) 洋上風力発電とは (3) いちき串木野市洋上風力発電 に関する検討状況 (4) 今後の予定 3 質疑応答 4 その他 5 閉会
市来地域	令和5年11月19日（日） 14:00～16:00	12名	市来地域公民館	
湊町・湊地区※	令和5年11月20日（月） 19:00～20:00	23名	いちきアクアホール	
荒川地区	令和5年11月24日（金） 19:00～20:00	17名	荒川交流センター	

※湊地区と湊町地区は合同開催



<各会場の説明会様子>

1.地区説明会の開催概要

- 第2回地区説明会は2地域、8地区で開催し、計155名参加した。

<第2回地区説明会開催概要（1/2）>

開催地域	日時	参加人数	会場	開催プログラム
羽島地区	令和6年2月15日（木） 19:00～20:30	9名	羽島交流センター	1 開会 2 説明 (1) いちき串木野市の今とこれから (2) 洋上風力発電とは (3) いちき串木野市洋上風力発電に関する検討状況 1) 令和4年度調査結果の概要 2) 令和5年度調査結果の概要 (4) 今後の予定 3 質疑応答 4 その他 5 閉会
荒川地区	令和6年2月16日（金） 19:00～20:00	20名	荒川交流センター	
市来地域	令和6年2月18日（日） 10:00～11:30	15名	いちきアクアホール	
串木野地域	令和6年2月18日（日） 15:00～16:45	12名	防災センター	
照島地区	令和6年2月19日（月） 19:00～20:15	31人	照島交流センター	



串木野地域



荒川地区



市来地域



串木野地域



照島地区

<各会場の説明会様子>

1.地区説明会の開催概要

- 第2回地区説明会は2地域、8地区で開催し、計155名参加した。

＜第2回地区説明会開催概要（2/2）＞

開催地域	日時	参加人数	会場	開催プログラム
本浦地区	令和6年2月20日（火） 19:30～21:00	19名	本浦交流センター	1 開会 2 説明 (1) いちき串木野市の今とこれから (2) 洋上風力発電とは (3) いちき串木野市洋上風力発電に関する検討状況 1) 令和4年度調査結果の概要 2) 令和5年度調査結果の概要 (4) 今後の予定 3 質疑応答 4 その他 5 閉会
川南地区	令和6年2月21日（水） 18:30～20:00	14名	川南交流センター	
湊町・湊地区※	令和6年2月22日（木） 19:00～20:40	9名	いちきアクアホール	
野平地区	令和6年2月27日（火） 19:30～21:15	26名	野平交流センター	

※湊地区と湊町地区は合同開催



＜各会場の説明会様子＞

2.当日いただいた意見概要

- 当日いただいた主な意見は以下のとおり。

質問	回答
発電した電気は誰が使うのか。地産地消であれば市が発電したものを市で優先して消費するということか。(第1回、市来地域)	市としては発電電力の一部をいちき串木野電力で買い取るような仕組みづくりを行い、再エネ地産地消として地域に還元したいと考えている。
発電事業者は倒産する場合もある。責任はだれが取るのか。(第1回、市来地域)	国の評価基準において経営評価が入っており、20年事業を継続できるのかも評価される。できるだけリスクを減らす方向で評価項目が設定されている。 (追補：「再エネ海域利用法」において事業者は経営破綻した場合に備えた撤去方法の提示とそのための費用の確保が義務付けられている。)
本市沖合は台風がよく通る。台風に耐えられる設備をつくることのできるのか。倒れた場合に誰の責任で撤去するか教えてほしい。(第1回、湊町・湊地区)	万が一破損するなどした場合は、事業者の責任において修理、撤去される。(追補：現状公表されているすべての「促進区域公募占用指針」(令和6年1月時点)において、発電設備が倒壊した場合は事業者が責任をもって撤去を行う旨が記載されている。)
発電開始から発電事業を約20年間行くと聞いたことがあるが、20年おきに風車は建て直されるのか。また、洋上風力発電事業の案件形成から撤去まで40年かかるのか。(第2回、羽島地区)	促進区域における洋上風力発電事業は制度上、占用計画認定から30年間で撤去までされることとなり、案件形成から撤去までおおよそ40年未満程度となる。ただし、将来的な法改正等によりルールが変更される可能性がある。また、当該海域における先行的な事業をきっかけとして、国が推進している浮体式などが展開されれば、一過性のものではなくなる。
先日南日本新聞からM7を超える地震が発生する可能性がある」と報道されていた鹿児島県周辺の活断層5か所は考慮しているか。(第2回、串木野地域)	ゾーニングマップにおいて当該断層帯は設置不可として整理している。断層帯からどの程度の範囲を設置不可とするかどうか、どのような建設工法を用いるかは、国に選定された発電事業者が検討する。なお、促進区域に指定された際に国が詳細な地盤調査を行う。
洋上風力発電電力の地産地消について、発電規模が大きいため電力が余るのではないか。(第2回、市来地域)	西薩中核工業団地の再利用や串木野新港の北側における埋立が実施された場合は第二工業団地の整備を想定しており、これにより電力需要が増加する可能性がある。もし、電力が余った場合は水素製造などの次世代エネルギーとして活用する構想もある。
洋上風力発電設備の建設工事中は振動や低周波が発せられることにより沿岸部の住民に健康被害がないか懸念する。健康被害の程度は調査しているか。(第2回、照島地区)	促進区域に指定された際に環境影響評価が行われ、影響があるという評価結果が得られた場合はその影響を回避または低減する措置が事業者に義務付けられている。また、建設工事においてははじめのうちは振動が小さい工法を用いることや風車の影響が少ないような配置とすることなどが欧州などで取り入れられている。

3.事後アンケート結果概要

- 地区説明会後のアンケート結果は以下のとおり。

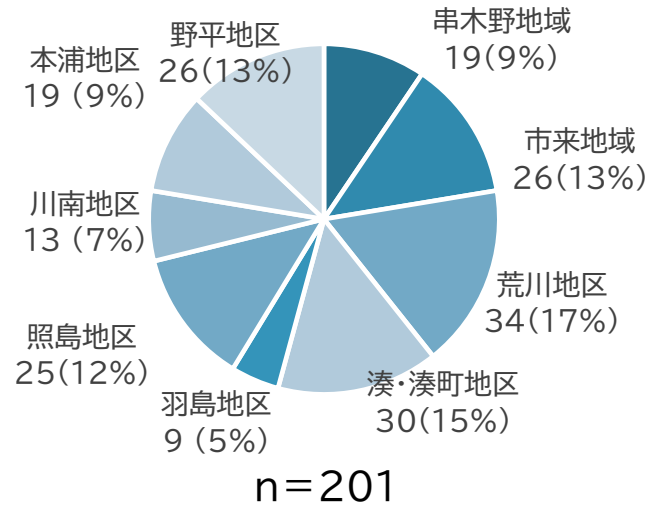
<事後アンケート概要>

- 参加者数：220名
- 回収数：202枚
- 有効回答数：201枚
- 回答率：91% (201/220)

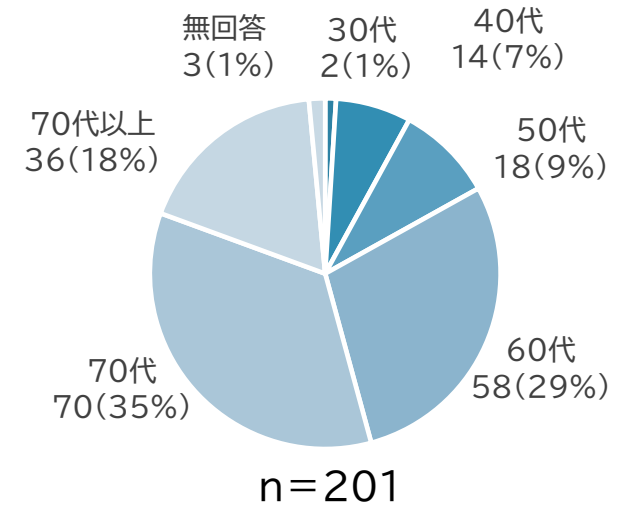
(設問事項)

- 説明会の理解度
- 洋上風力に対する期待や不安
- 洋上風力発電事業の印象

◇参加地区



◇年齢



3.事後アンケート結果概要

◇洋上風力に対する期待や不安（自由回答）

<主な期待事項>		<主な不安事項>	
原発からの脱却	原子力発電に依存しない社会をめざす市の現状をふまえて、洋上風力に期待します。（70代、串木野地域）	環境影響・社会影響	環境に与える影響が大きい。（70代、市来地域）
	原発にかわるクリーンエネルギーとして期待する。（70代以上、市来地域）		環境への影響がどのようになるか不安です。（70代、市来地域）
地域振興への貢献	市の活性化につながる事業なので期待しありません。（50代、串木野地域）		災害の影響
	市の発展に寄与してもらいたい（60代、湊町・湊地区）	台風竜巻、津波が風力発電に当たり最大級の災害を心配しています。（70代、串木野地域）	
	洋上風力発電を取り入れることによって、いちき串木野市により効果があるのであれば良い事だと思います。各家庭の電気代が安くなればと思います。（60代、湊町・湊地区）	長期間事業への不安	今後はメガ台風が発生すると予想されているが大丈夫だろうか。（70代、串木野地域）
	前向きに進めてください。地域振興方策を前向きに出し検討を。（70代以上、湊町・湊地区）		事故災害等（60代、湊町・湊地区）
		未来の人たちの負の遺産にならないかが不安になりました。（70代、串木野地域）	
		洋上発電の20年後がどうなるのか。（50代、湊町・湊地区）	
		天災や事業者の廃業等で設備が不能になったとき、海底まできちんと撤去できる国の保証、保険制度等あるのか心配。（60代、湊町・湊地区）	
		人が減少していくのに、数十年後にそれに関連する人材が残っているのか不安だ。（60代、串木野地域）	

3.事後アンケート結果概要

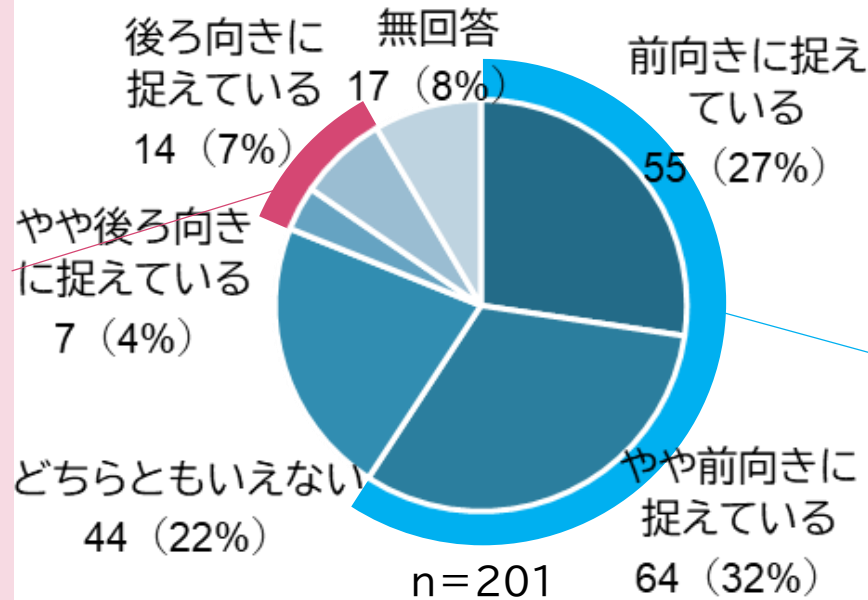
◇市の「洋上風力発電事業」の印象

<後ろ向きに捉えている>

- 海の見え、景色が悪くなる。騒音、健康への影響が不安。(40代、串木野地域)
- 今は電力は足りてると思う。(70代、照島地区)
- 経済効果はたかが数年だと思われます。(70代、市来地域)
- 説得力に欠ける。メリットは余りない。(50代、市来地域)

<やや後ろ向きに捉えている>

- 地震などに対応しているのか。落雷などは大丈夫か。(50代、照島地区)
- 近隣自治体が全く検討しておらず(説明会もなし)そのような中いちき串木野市だけが前のめりなのが非常に不安。(50代、湊・湊町地区)
- 市にどのくらい実質的な恩恵があるのかよく分からないから、具体化するのに10年以上かかるし、実現できるかも分からないものより実利のある取り組みを検討の方がよい。(60代、市来地域)
- 景観はダメになるのはあきらか。(60代、湊・湊町地区)



<前向きに捉えている>

- 原発からの脱却はよいことだと思う。(70代、荒川地区)
- カーボンニュートラルに向け重要な施策の一つである。(60代、本浦地区)
- 電気の料金がすこしでも安くなるために事業をすすめてほしい。(70代、川南地区)
- 地域経済に貢献しいちき串木野市が発展してほしい。(60代、湊・湊町地区)
- 先々の火力、原子力は不安定。カーボンニュートラル実現→再エネは必要。(60代、湊町・湊地区)

<やや前向きに捉えている>

- 原子力発電よりも良いかもしれないと思った。(50代、荒川地区)
- メリットの方が大きいのでは？(60代、市来地域)
- まだ、多くの人知られていないので、市民への周知を十分図ってほしいと思う。(60代、市来地域)
- 期待もあれば不安もある。本市の活性化につながる事業であると思う。(70代、野平地区)